

## 第15回 日本在宅医学会大会 プログラム別 詳細情報

カテゴリー	一般演題口演
タイトル	ケアマネジャーを対象とした教育プログラムの効果に関する検討(第1報) 愛知ケアマネ研究会入門コース受講者を対象にしたアンケート調査結果から
日時	平成 25 年 3 月 30 日 10 : 20~10 : 30
会場	第 8 会議室
座長	村山大和診療所 森 清先生
演者	名古屋大学大学院医学系研究科・辻 典子先生
企画趣旨	<p>目的：愛知ケアマネ研究会は 2005 年 11 月に名古屋大学医学部附属病院の有志によって設立され 2012 年までに延べ 530 人が 1 年間の所定のカリキュラムを受講している。当初参加は施設単位で所属のケアマネジャーはだれでも参加ができるシステムであったが、2008 年度からは個人の会員制とした。本調査においては、今後の多職種連携におけるケアマネジャーの能力向上のために必要な教育プログラムの開発を視野に、ここまでの受講者の意見をまとめ考察を試みた。</p> <p>研究の計画・方法：2008 年から 5 年間の間に入門コースを受講した 364 人に対して、1、アンケート用紙作成（カリキュラムの満足度、習得度、問題点などを尋ねる質問を盛り込んだ）2、アンケート用紙は 364 人すべてに郵送し、FAX にてアンケート用紙を回収した。3、回収したアンケート用紙の集計、解析を行なった。</p> <p>結果、：施設の移転や閉鎖のため 25 通が不明で返送されてきた。回答は 124 人（回収率 36.6%）であった。受講後 81%の会員が医学知識が以前より多くなったと回答し、70.2%が自分自身レベルアップしたと回答している。カリキュラムの満足度については、91%が学びたいことがはいていたと回答しており、85.5%が講義はわかりやすかったと非常に満足しているという結果が得られた。一方で多職種の勉強会を望む 95%。質問があまりできなかった、他のケアマネジャーとの意見交換があまりできなかった等の意見もあった。</p> <p>考察：本調査では受講したケアマネジャーの満足度は概ね良好であった一方で、講義形式が中心で意見交換の時間が限られている問題点も指摘された。今後、多職種連携を考えたカリキュラムを検討していく上で、ケアマネジャーの知識向上は必要不可欠であるため、今後も適宜、受講者の意見を集約して、より現場で役に立つ教育プログラム、コンテンツの提供が必要であると感じられた。</p>